

平成 25 年度実績に関する施策・基本事業評価表(兼 主要な施策の成果報告書)

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち
施策No.	18	施策名	水道水の安定供給
主管課名	水道課		
関係課名			

施策が目指すすがた	・安全でおいしい水が、将来にわたって安定的に供給されています。
-----------	---------------------------------

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	・水道水を大切に使います。
	行政	・水質検査、水道施設の維持管理を行い、安全な水道水を供給します。 ・水道の利用促進を図るため、水道に関する情報提供を行います。 ・老朽施設、管路の更新を継続的に行うため、経営の効率化、健全化に努めます。
	その他(地域)	

施策のトータルコスト	区 分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	5 (5)	5 (5)			
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	3 (3)	3 (3)				
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	2 (2)	2 (2)				
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—						
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—						
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	1,154,604	1,012,755				
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	233,759	334,072				
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	920,845	678,683				
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—						
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—						
C. 施策に携わるのべ正規職員数合計	人	—	28	26				
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	17,860	17,300				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	78,566	72,556				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	1,233,170	1,085,311				
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の							
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	26,054	22,998			
	同上	円	—	1,773	1,648			
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	27,827	24,646			
同上	円	—	27,827	24,646				
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	27,827	24,646				

参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194		
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036		

基本事業概要シート①

施策No.	18	施策名	水道水の安定供給
基本事業名①		水道施設の整備	
基本事業①の目的(意図)		施設の増設、配水管布設により給水可能な区域の拡大を行います。老朽化した施設や管路を計画的に更新します。管路の布設等では、耐震性の優れた構造とします。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<b>【簡易水道事業】</b> ・升方簡易水道の老朽管更新事業を実施しました。 <b>【増補改良事業】</b> ・大町、村木地区を中心とした老朽化管路の耐震管への更新事業を実施しました。 <b>【拡張事業】</b> ・給水の余裕が少ない江口・天神地区へ配水するため、国道8号および県道宇奈月大沢野線に配水管を敷設しました。 ・六郎丸低区配水池の実施設計を行いました。	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
管路の更新率	%	0.76	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			0.6	1.0	0.9	0.7			
管路の耐震化率	%	9.50	10.5	12.0	13.0	14.0	15.0	16.0	22.0
			10.4	11.7	12.8	13.6			

基本事業①を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	簡易水道事業特別会計	簡易水道事業	80,000,000	76,955,550	3,044,450	A	水道課
2	水道事業会計	増補改良事業	188,615,000	148,831,200	39,783,800	A	水道課
3	水道事業会計	拡張事業	308,237,500	108,285,450	199,952,050	A	水道課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			576,852,500	334,072,200	242,780,300		

基本事業概要シート②

施策No.	18	施策名	水道水の安定供給
基本事業名②		安定した水道事業経営	
基本事業②の目的(意図)		安全な水道水を安定して供給するためには、健全で安定した経営を継続していく必要があります。このため、計画的な料金の見直しを行うなど経営の合理化に努めます。	
平成25年度における主な事業内容(活動内容)		<b>【簡易水道管理事業・水道管理運営事業】</b> ・上水道及び簡易水道施設の維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び量水器の取替えを行いました。 ・上水道及び簡易水道利用者に対する使用料の請求及び徴収業務を行いました。	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
料金回収率	%	105.1	105.0	104.0	104.0	103.0	103.0	102.0	110.0
			107.5	106.0	104.1	106.4			
給水栓数	栓	14,270	14,300	14,340	14,380	14,420	14,460	14,500	14,700
			14,302	14,403	14,552	14,706			

基本事業②を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	簡易水道事業特別会計	簡易水道管理事業	11,435,000	7,936,387	3,498,613	A	水道課
2	水道事業会計	水道管理運営事業	738,580,000	670,746,617	67,833,383	A	水道課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			750,015,000	678,683,004	71,331,996		

施策No.	18	施策名	水道水の安定供給
-------	----	-----	----------

25年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)
	<p>【水道施設の整備】</p> <p>◆水道管路の耐震管への更新については、目標1.0%に対して結果0.7%と目標を達成できませんでした。管路耐震化率は13.6%となり、黒部市(平成24年度、9.4%)、滑川市(平成24年度8.3%)と比べると近隣他市より進んでいますが、決して高い割合とは言えないことから、健全な経営が維持できる範囲内で最大限の進捗に努めています。</p> <p>【安定した水道事業経営】</p> <p>◆料金回収率は、100%を超えていることから、利用料金で必要な費用は賅われています。</p> <p>◆水道料金は、平成10年4月以降据え置き、県内では平均より低い料金体系ですが、近隣他市が県内では最低の料金設定(下から1番目と2番目)と極端に低額の料金となっているため、住民の期待には十分に答えているとは考えられません。(参考)3人世帯の標準的な使用水量20m<sup>3</sup>/月の水道料金 魚津市2,650円 黒部市1,494円 滑川市1,836円 県内12事業体平均2,955円(平成25年度末現在)</p>
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (25年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)

【水道施設の整備】

◆上水道事業では、平成16年3月に事業認可を受けた第4次拡張事業計画(H16～H29年度)の見直しを兼ねて、平成24年度に水道のあるべき将来像の実現のための具体的な施策や工程を提示する「水道ビジョン(H24～H33年度)」を策定し、これに基づいて事業を進めました。

<増補改良事業>

◆大町、村木地区を中心とした老朽化管路の耐震管への更新事業を実施しました。

<拡張事業>

◆H24年度に低区(印田)配水池移築事業に着手しました。事業期間は、3～4年程度を見込み、H25年度は、実施設計を行うとともに、用地取得に目途をつけました。

<簡易水道事業>

◆升方簡易水道の老朽管更新事業に着手しました。事業期間は、3か年を予定しています。

【安定した水道事業経営】

<水道管理運営事業・簡易水道管理事業>

◆H25.4.1より工務係1名減となり、水道課全体で10名体制となりましたが、業務分担の最適化で減員分を吸収しました。

◆H25年度に、H26年度から摘要される地方公営企業会計基準の見直しに対応しました。

◆水道料金に関しては、消費税アップ分(5%→8%)の見直しを行いました。

3. 施策の課題認識及び取り組み状況  
(前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)

【水道施設の整備】

◆水道ビジョンは、人口減少時代を見据え、水道料金収入が年々減少することを前提に策定しました。そのこともあり、現行の料金体系では、ビジョンで掲げた事業を計画どおり実施していくと、数年後には赤字になることを想定しています。また、水道料金を値上げしてでも、給配水施設の耐震化を進めるべきとの考え方もあります。しかし、近隣他市の水道料金が県内では非常に低額であるという状況下、料金の増額改定は、容易ではないと考えられます。したがって、現行の料金体系を当分は維持しつつ、財源を勘案しながら、基本的に水道ビジョンで示した計画に従って施設整備を進め、安全でおいしい水道水を安定的に供給し続けます。

◆大震災の教訓からは、できるだけ早急な施設の耐震化が求められていますが、経営面の制約から、管路の更新率1%(更新サイクル100年)をひとつの目安として、老朽管(施設)の更新を実施していきます。

◆低区配水池更新事業などの水道ビジョンに掲げた水道施設整備を実施します。

【安定した水道事業経営】

◆すべての経営資源(人、金、もの、情報)を見直すことによって経営の効率化を追求し、水道ビジョンに掲げた事業の実施に必要な財源を確保しつつ、健全で安定した経営を継続していきます。

◆重点的な取組みとして、水道施設を計画的に更新し、この資産を健全な状態で次世代に引き継いでいくアセットマネジメント(資産管理)の観点から、水道ビジョンの施設整備計画を総務省の提唱する公営企業戦略指針で示されている「投資計画」と位置付け、その実施に必要な財源を示す「財政計画」を盛り込んだ「中期経営計画(H27-H31)」を策定します。

◆料金の見直しに関しては、歳入の確保と歳出の圧縮を十分に行ったうえで、他市の動向を見据えながら、検討します。

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	◆健全で安定した経営を継続できる範囲内で財源をできる限り確保して、水道ビジョンで示した計画に従って施設整備を進め、安全でおいしい水道水を安定的に供給し続けること。	

経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針	施策の重要度	一般
	◆健全で安定した経営に努め、計画的に施設整備を進め、安全でおいしい水道水を安定的に供給し続けます。	